

スマートフォン、SNSの使い方に要注意

1. 提案のきっかけ

(1) わたしたちの経験と、調べて分かったこと

SNSは情報がすぐに広まるため、個人情報の流出や、誹謗中傷などの被害に合う確率が高くなる。ニュースでは、気づかずに詐欺サイトに入り、高額をだまし取られる事件などがある。誹謗中傷とは、人の悪口を言ったり、噂を流すなどをして人を傷つけることである。

『こども家庭庁』のデータによると、中学生から高校生が被害に遭う事が多数あるそうだ。更に、中学生と比べて小学生の被害児童数の違いは、11倍も中学生の方が多く詐欺に合う確率が上がるため、提案する。

(2) 解決したい課題

解決したい課題は、詐欺メールによる個人情報の流出である。それによって警官やクレジットカード会社員などになりすまされ、高額のお金を騙し盗られることがあるためそれを防ぐための提案をする。

2. 提案

具体的な提案内容

(1) 通報する

(2) 宛先のIDを確認する。知らないIDであれば、受信拒否/ブロックする

(3) ネットを通した支払いは、きちんと支払いしたかをちゃんと覚えておく、又はメモする

(4) URLを確認する。簡単に受信拒否できるようにする

(5) 公式アカウントなどの安全なサイトに✓マークが付いている。

その✓マークが付いてかいるか、すぐに確認する

(6) ウイルスバスターをつける。ウイルスバスターとは、メールなど についてのウイルスをブロックする機能である。

(7) 噂を拡散したり、コメントしない。

このように、今までの支払いを記録したり、知らない、怪しいサイトからのメールやライン、広告をブロックするのが大切である。

更に誹謗中傷を避けるため、噂などを拡散、コメントなどを辞めることが大切である。

3. まとめ

スマートフォンは、とても簡単に身近な家族や友達や、顔も知らない人とでも会話ができる。知らない人とでも話せてしまうため、判断力が低下してしまうことがある。更に、SNSは便利だが使い方を

間違えると詐欺や個人情報の流出などの危険がある。そのため、送信者やURLを確認し、安全に利用することが大切である。

参考資料サイト

[こども家庭庁](#)